

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成29年10月31日

和泉市長 あて

団体名 Go ing 横山
代表者名 塔筋就子 印
所在地
電話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 “赤い蕎麦の花咲かそ”
2. 事業の概要 横山校区には遊ばせておくにはもったいない休耕放棄地が数多くある。そこを利用して赤蕎麦を栽培し、農業の楽しさ・収穫の喜びを分かち合いつつ、外環状線沿いに赤蕎麦の花による美しい景観作りを実現する。
3. 事業費総額 520,000 円
(うち、対象経費 500,000 円)
4. 交付希望額 250,000 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい いいえ)
6. 添付書類
(1) 団体概要調書（様式第2号）
(2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
(3) 事業計画書（様式第3号）
(4) 収支予算書（様式第4号）
(5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	ゴイング 横山		
団体名	Going 横山		
団体の目的	初年度は和泉市仏並町244から248番地を軸に近隣の賛同者の畑に赤蕎麦を栽培して、次第に横山全域の休耕地に赤蕎麦と白蕎麦を開花させ、一面の花畑を観光スポットにして内外の観光客を誘致する。中高年者に楽しく軽い農作業提供は雇用の促進。まちづくり推進活動。観光振興。農村振興の三位一体の活動。		
市内事務所の所在地	【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話		F A X
フリガナ	タカシ 就子		
代表者氏名	塔筋 就子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ タカシ 就子		電 話
	塔筋 就子		F A X
設 立 年 月	2017年 8月	主な活動地域	和泉市横山校区
会報等の発行	有（ 回発行） ・ 無	会員数	10人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	横山校区を主に、南部一帯の耕作放棄地の有効利用。 平行して中高年者の就労（軽作業）促進を事業の主軸とする。		
主な活動の実績	<p><u>現段階までの活動</u> 三位一体の活動イメージの発案は平成 28 年7月。以降地元お世話役さんなどに趣旨説明などを続け耕作放棄地の所有者探し、平行して、若い農業者の会合を持ち、試行錯誤する事1年3ヶ月。ついに篤厚な方から土地使用の許可を得たものゝ、旧態の農業経営でない新企画の模索を続け、ついに赤蕎麦に行き着いて、11月5日の蒔種に到達。この時期の蒔種は時期的に不安材料は有るが、まずは試行する事に重点を置いて、圃場の除草、整地、蕎麦苗種購入に到った。</p> <p><u>今期の行動</u> 春先からの圃場の除草、整地、蕎麦苗種購入、蒔種時、開花時（開花時には特に観光に力点）のイベント催行。刈り取り、乾燥、脱穀、製粉、製麺、蕎麦打、各々、年2回の計8回のイベント催行を予定。</p>		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

<p>申込事業の名称</p>	<p>“赤い蕎麦の花咲かそ”</p>	
<p>事業の必要性 *別紙添付可</p>	<p>（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） かつて高度経済成長の牽引車であった団塊世代は70代を迎え、日本は少子高齢化社会となっている。農業従事者もその例に漏れずリタイアが続き、農業が廃れつつある現状は、若者の地方からの流出・独居老人の増加にもつながっている。 日本中に休耕放棄地が増え、景観を損なう事態にもなっている。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果）団体・参加者・地域全体のメリット等 農作業参加による中高齢者の交流・軽運動による健康増進、生き甲斐づくり。農耕の楽しさや収穫の喜びを共有する。 赤蕎麦栽培による休耕放棄地の削減・景観の再構築。 ゆくゆくは信州伊那高原のような赤蕎麦の景観を誇れる地とし、若者のUターンや和泉市への経済効果へ繋げることを視野に入れる。</p>	
<p>事業内容 *別紙添付可</p>	<p>（主な対象者）和泉市を主として、周辺地域より広く募る 参加予定者数 30人/回 （事業実施期間）平成30年4月～平成31年3月 （事業実施場所）和泉市横山校区 （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） 耕作放棄地（仏並町244番地～248番地よりスタート）にて、所有者からの協力・指導の下、市民から募った参加者と共に赤蕎麦・白蕎麦の栽培を行う。開花時期の景観構築の実現や、収穫後の蕎麦打ち・試食の交流会を行う。高齢者の農業参加が予想されるので、安心してイベントに参加できるよう、休憩所(パラソル・デッキ等)の整備も平行して進める。 ※赤蕎麦はヒマラヤ原産・信州大の教授が種を持ち帰り品種改良したもので、まだ日本では広く知られていない。春・秋の連絡が可能で美しい花は観光要素にもなる。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時（月） 4月 5月 6月上旬 7月上旬 8月 9月下旬 10月下旬 11月下旬 12月 1月下旬</p>	<p>内容 耕作放棄地の所有者と交渉、同意を得て、圃場を広げる。 圃地を鋤き、整地。 赤蕎麦や白蕎麦の蒔種イベントを催行 開花の宴 イベント催行 収穫祭 ボランティア協力で催行 脱穀、製粉 そば打ち 秋蒔種の種まきイベント催行 開花の宴 イベント催行 収穫祭 イベント催行 脱穀、製粉 そば打ち</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称：“赤い蕎麦の花咲かそ”

1. 【収入】

（単位：円）

項目	金額	積算根拠
支援金	250,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	100,000	イベント参加料（種まき・花見・収穫・蕎麦打ち等 計8以上回開催） （10人×4回×500円・10人×4回×1,000円） 収穫物売上（40,000円）
自主財源	170,000	
合計	520,000	

2. 【支出】

（単位：円）

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	24,000	イベント参加賞（300円×10人×8回）
旅費	150,000	イベント時・農作業時交通費（週一通勤想定） 会長（公共交通機関 1,500円×4回×10ヶ月） 副会長（燃料代 15円×50km×4回×10ヶ月） 他会員（概算 60,000円）
消耗品費	220,000	赤蕎麦種苗（1,000円/kg×20kg） 農作業用品・事務用品（20,000円）
食料費	16,000	スタッフ作業時飲料（200円×10人×8回）
印刷製本費	30,000	ポスター・チラシ制作費
使用料及び賃借料	60,000	農耕具レンタル代（60,000円/3日）
備品費（対象外経費）	20,000	コンロ4台（イベント時調理用）
合計	520,000	
対象経費	500,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

（ 会員で費用を出し合う。広く賛同者を募り、ボランティアの協力で年2回の赤蕎麦祭りをメインに多面的なイベントを催行する。NetやWebで広告宣伝を広く且つ密にして人集めをする。 ）

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。